

平成28年度 高額レセプト上位の概要

健保連が行う平成28年度の『高額医療交付金交付事業』に申請された医療費のうち、1ヵ月の医療費が1,000万円以上の件数は、前年度より123件増加（対前年度比34.1%増）の484件で過去最多となり、初めて400件を超えた。

なお、28年度分から、月額医療費、主傷病名、疾患別の傾向等詳細なとりまとめについては上位100件までとした。

- 1位、2位ともに1億円以上で、上位100位が1,600万円超（前年度：1,300万円超）、また2,000万円以上の件数が、対前年度比22件増（47%増）の69件で過去最多を更新しており、医療費の高額化傾向を示す結果となった。
- 上位100件を疾患別にみると、循環器系疾患が41件（全体の41%）で最多となり、次いで血液疾患34件（同34%）、先天性疾患8件（同8%）、悪性腫瘍0件（同0%）、その他17件（同17%）だった。
- 上位100件の疾患別件数を前年度と比較すると、循環器系疾患は6件減（13%減）、血液疾患は6件増（21%増）、先天性疾患は4件減（33%減）、悪性腫瘍は1件減（100%減）、その他は5件増（42%増）となった。

連絡先：健康保険組合連合会
組合支援事業部
高額医療グループ
TEL 03-3403-0557

注:主傷病名欄の()は調剤レセプト

図表1 1,000万円以上高額レセプト上位100位 (平成28年度)

(単位:円)

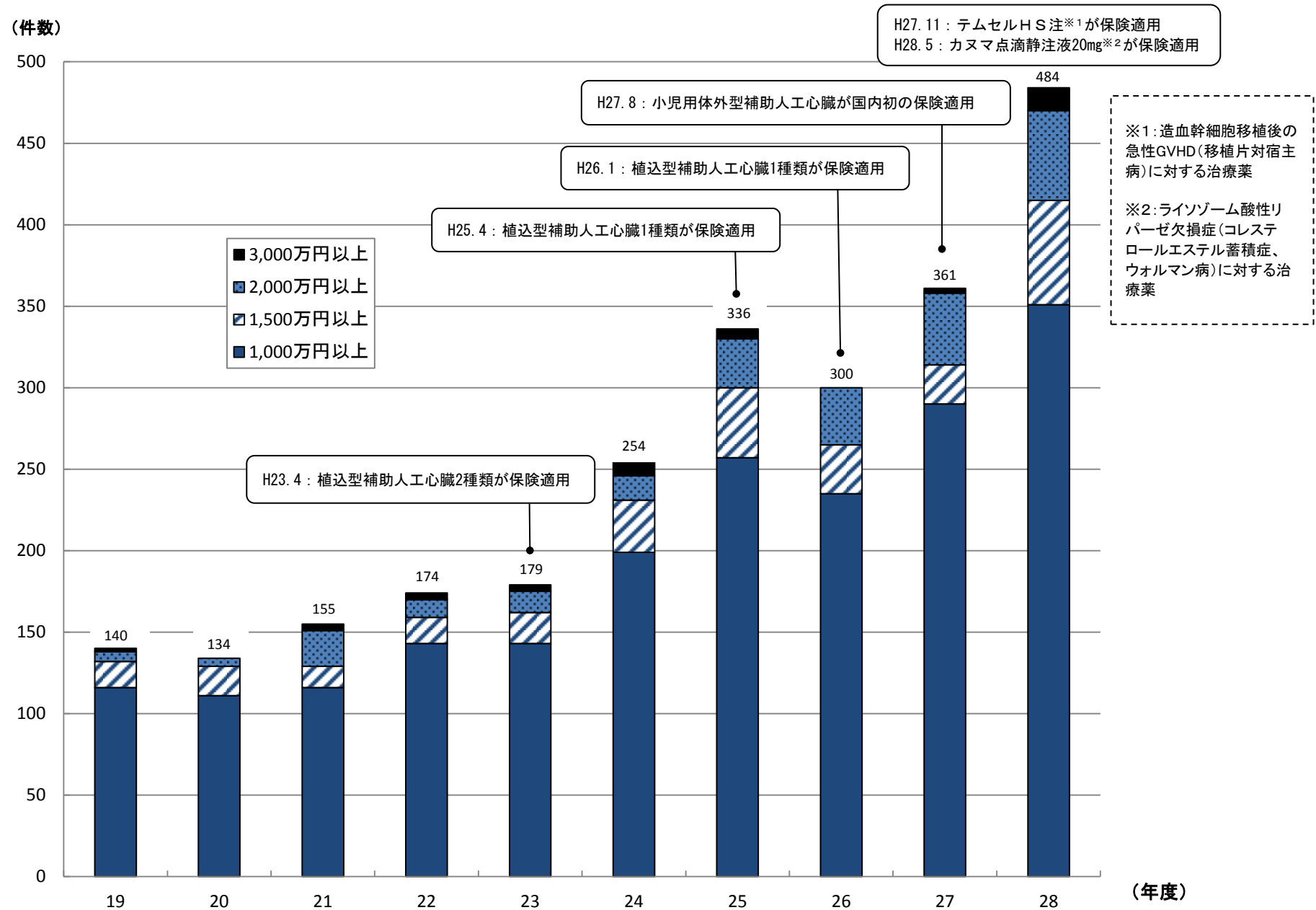
順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名	順位	月額医療費	主傷病名
1	106,941,690	フォンウィルブランド病	26	25,959,250	特発性拡張型心筋症	51	23,438,370	拡張相肥大型心筋症	76	18,294,330	肺動脈弁狭窄兼閉鎖不全症
2	102,379,460	血友病A	27	25,950,860	特発性拡張型心筋症	52	23,389,470	血友病A	77	18,175,070	左心低形成症候群
3	70,229,710	血友病A	28	25,663,060	虚血性重症心不全	53	23,349,670	虚血性心筋症	78	18,165,470	完全大血管転位症2型
4	50,427,470	血友病A	29	25,471,460	血友病A	54	23,167,780	続発性心筋症	79	17,974,540	完全大血管転位症
5	49,941,080	血友病A	30	25,469,070	特発性拡張型心筋症	55	23,053,920	特発性拡張型心筋症	80	17,895,520	コレステロールエステル蓄積症
6	45,902,330	血友病A	31	25,192,850	特発性拡張型心筋症	56	23,031,250	特発性拡張型心筋症	80	17,895,520	コレステロールエステル蓄積症
7	41,517,230	血友病A	32	25,013,320	特発性拡張型心筋症	57	23,017,880	血友病A	82	17,794,880	左心低形成症候群
8	41,049,330	血友病A	33	24,957,090	特発性拡張型心筋症	58	23,012,430	特発性拡張型心筋症	83	17,750,880	全身第3度熱傷
9	40,780,090	血友病A	34	24,944,110	拡張相肥大型心筋症	59	22,909,670	ドライブライン感染	84	17,654,920	BH4反応性高フェニルアラニン血症
10	38,186,380	血友病A	35	24,860,100	血友病A	60	22,335,620	特発性拡張型心筋症	85	17,654,820	BH4反応性高フェニルアラニン血症
11	37,268,590	フォンウィルブランド病	36	24,665,950	特発性拡張型心筋症	61	22,261,630	特発性拡張型心筋症	86	17,585,060	フォンウィルブランド病
12	35,006,190	血友病A	37	24,454,160	(肺動脈性肺高血圧症)	62	22,166,860	肺動脈性肺高血圧症	87	17,457,470	急性大動脈解離StanfordA
13	30,094,420	特発性拡張型心筋症	38	24,219,120	特発性拡張型心筋症	63	21,882,870	血友病B	88	17,301,940	全身第3度熱傷
14	30,036,840	血友病A	39	24,189,490	硬膜動静脈瘻	64	21,872,630	血友病A	89	17,140,230	非代償性肝硬変
15	29,014,390	フォンウィルブランド病	40	24,185,970	拡張相肥大型心筋症	65	21,856,940	血友病B	90	17,053,600	GVHD・臍帯血移植後
16	27,668,510	血友病A	41	24,129,590	特発性拡張型心筋症	66	21,169,420	血友病A	91	16,952,440	(血友病A)
17	27,313,000	特発性拡張型心筋症	42	24,104,830	特発性拡張型心筋症	67	20,432,860	特発性間質性肺炎	92	16,946,490	(血友病A)
18	27,267,200	拘束型心筋症	43	24,057,610	特発性拡張型心筋症	68	20,419,150	肺動脈弁閉鎖不全症	93	16,928,480	完全大血管転位症
19	27,243,180	特発性拡張型心筋症	44	23,871,330	アドリアマイシン心筋症	69	20,392,920	急性広範前壁心筋梗塞	94	16,908,600	(血友病A)
20	27,021,080	完全大血管転位症	45	23,869,420	虚血性心筋症	70	19,760,260	(血友病A)	95	16,724,660	GVHD・同種骨髄移植後
21	26,912,440	血友病B	46	23,756,690	心内膜床欠損症	71	19,654,520	(肺動脈性肺高血圧症)	96	16,606,550	(高フェニルアラニン血症)
22	26,867,140	特発性拡張型心筋症	47	23,739,410	血友病A	72	19,020,920	GVHD・骨髄移植後	97	16,606,480	(高フェニルアラニン血症)
23	26,851,460	コレステロールエステル蓄積症	48	23,669,260	特発性拡張型心筋症	73	18,963,050	血友病B	98	16,549,020	(高フェニルアラニン血症)
24	26,556,300	血友病B	49	23,604,870	特発性拡張型心筋症	74	18,770,410	特発性拡張型心筋症	99	16,453,840	左心低形成症候群
25	26,348,380	フォンウィルブランド病	50	23,517,200	拡張相肥大型心筋症	75	18,701,280	血友病B	100	16,265,160	BH4反応性高フェニルアラニン血症

図表2 1,000万円以上高額レセプトの件数と最高金額等

年 度	件 数	最高金額	主傷病名
平成 9 年	72 件	18,711,450 円	血友病A
〃 10 年	72 件	17,915,880 円	慢性骨髄性白血病
〃 11 年	90 件	21,035,660 円	血友病A
〃 12 年	98 件	19,514,290 円	拡張型心筋症
〃 13 年	106 件	22,561,810 円	急性膵壊死
〃 14 年	81 件	40,073,310 円	血友病A
〃 15 年	101 件	29,859,940 円	大動脈解離
〃 16 年	89 件	23,893,270 円	血友病A
〃 17 年	115 件	34,953,330 円	血友病A
〃 18 年	116 件	23,567,750 円	骨肉腫

年 度	件 数	最高金額	主傷病名
平成 19 年	140 件	37,629,030 円	血友病
〃 20 年	134 件	28,416,300 円	血友病B
〃 21 年	155 件	38,280,620 円	血友病B
〃 22 年	174 件	46,392,680 円	血友病B
〃 23 年	179 件	115,504,940 円	血友病A
〃 24 年	254 件	84,811,650 円	血友病A
〃 25 年	336 件	62,212,360 円	血友病A
〃 26 年	300 件	29,917,200 円	肥大型心筋症
〃 27 年	361 件	42,530,080 円	血友病A
〃 28 年	484 件	106,941,690 円	フォンウィルブランド病

図表3 過去10年の1,000万円以上高額レセプトの件数の年次推移



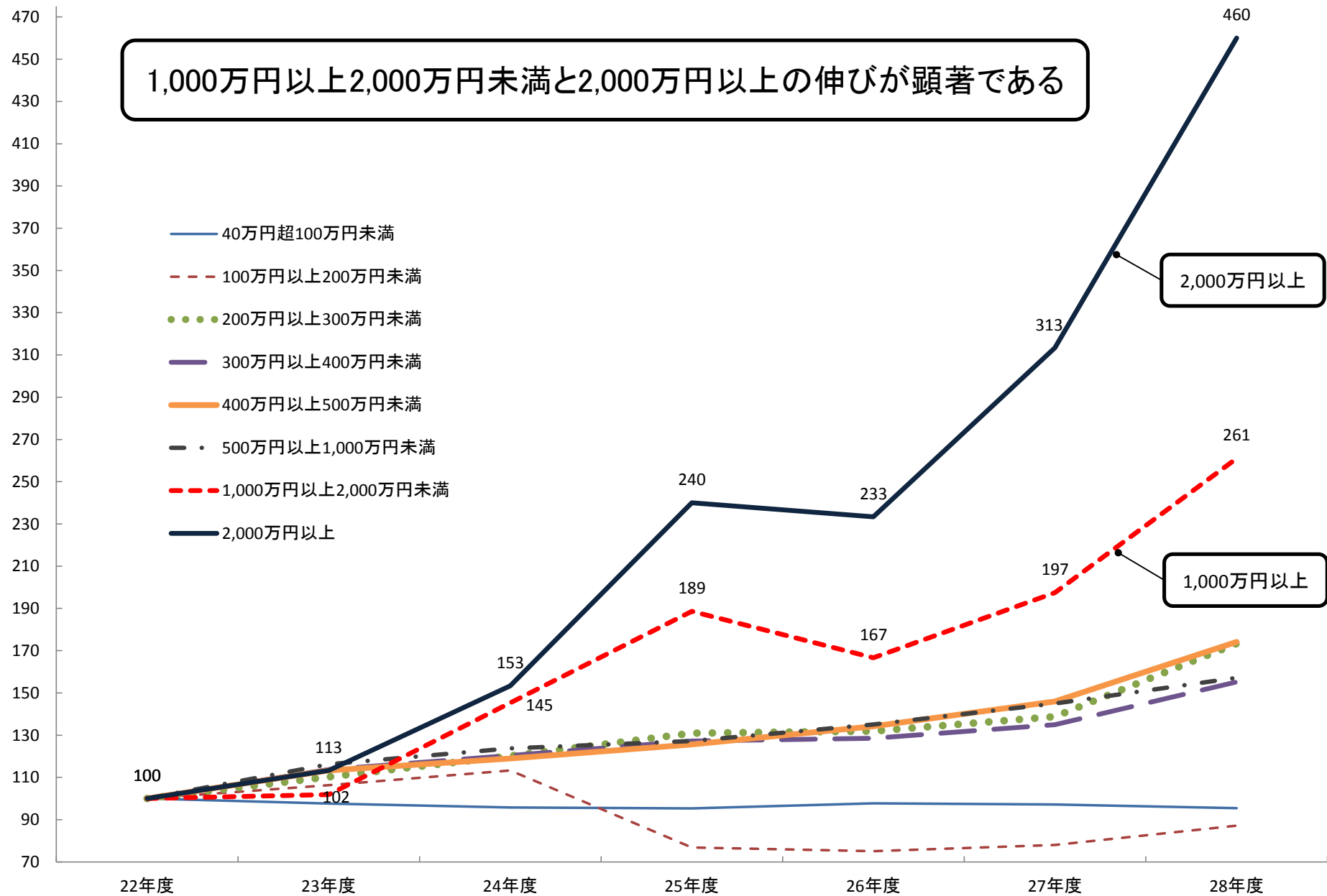
図表4 高額医療交付金交付事業における金額階級別交付件数の推移

金額階級		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
40万円超 100万円未満	件数	94,441	92,210	90,434	90,076	92,306	91,800	90,081
	指数	100	98	96	95	98	97	95
	対前年度比		-2.36%	-1.93%	-0.40%	2.48%	-0.55%	-1.87%
	構成割合	30.6%	28.6%	26.9%	32.2%	33.0%	31.9%	28.6%
100万円以上 200万円未満	件数	167,088	177,680	189,342	128,363	125,522	130,412	145,614
	指数	100	106	113	77	75	78	87
	対前年度比		6.34%	6.56%	(※) -32.21%	-2.21%	3.90%	11.66%
	構成割合	54.1%	55.1%	56.3%	45.9%	44.8%	45.3%	46.2%
200万円以上 300万円未満	件数	29,065	32,040	34,928	38,053	38,352	40,320	50,381
	指数	100	110	120	131	132	139	173
	対前年度比		10.24%	9.01%	8.95%	0.79%	5.13%	24.95%
	構成割合	9.4%	9.9%	10.4%	13.6%	13.7%	14.0%	16.0%
300万円以上 400万円未満	件数	10,122	11,515	12,181	12,873	13,015	13,664	15,705
	指数	100	114	120	127	129	135	155
	対前年度比		13.76%	5.78%	5.68%	1.10%	4.99%	14.94%
	構成割合	3.3%	3.6%	3.6%	4.6%	4.6%	4.7%	5.0%
400万円以上 500万円未満	件数	4,070	4,610	4,842	5,112	5,460	5,941	7,087
	指数	100	113	119	126	134	146	174
	対前年度比		13.27%	5.03%	5.58%	6.81%	8.81%	19.29%
	構成割合	1.3%	1.4%	1.4%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%
500万円以上 1,000万円未満	件数	3,679	4,278	4,551	4,682	4,970	5,335	5,784
	指数	100	116	124	127	135	145	157
	対前年度比		16.28%	6.38%	2.88%	6.15%	7.34%	8.42%
	構成割合	1.2%	1.3%	1.4%	1.7%	1.8%	1.9%	1.8%
1,000万円以上 2,000万円未満	件数	159	162	231	300	265	314	415
	指数	100	102	145	189	167	197	261
	対前年度比		1.89%	42.59%	29.87%	-11.67%	18.49%	32.17%
	構成割合	0.05%	0.05%	0.07%	0.11%	0.09%	0.11%	0.13%
2,000万円以上	件数	15	17	23	36	35	47	69
	指数	100	113	153	240	233	313	460
	対前年度比		13.33%	35.29%	56.52%	-2.78%	34.29%	46.81%
	構成割合	0.005%	0.005%	0.007%	0.013%	0.013%	0.016%	0.022%
合計	件数	308,639	322,512	336,532	279,495	279,925	287,833	315,136
	指数	100	104	109	91	91	93	102
	対前年度比		4.49%	4.35%	-16.95%	0.15%	2.83%	9.49%

(注) 指数は、平成22年度を100とした伸び率である。

(※) 平成25年度より交付基準額を100万円から120万円へ変更したため、当該階級は大きく減少している。

図表5 金額階級別交付件数の推移



(注)平成22年度を「100」とした伸び率の推移である。

高額医療交付金の交付の仕組み

1. 高額医療交付金の交付基準

レセプト1件あたりの決定金額が交付基準額を超える場合に交付対象とし、財源との見合いにより、①+②となる交付対象額に交付率を乗じ、交付決定額とする。

ただし、400万円超部分には交付率を乗じず、100%交付とする。

交付対象額

=①+②

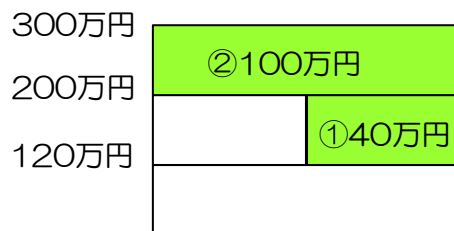
- $$\begin{cases} \textcircled{1} & = \text{交付基準額を超えて200万円以下の部分は2分の1} \\ \textcircled{2} & = \text{200万円超の部分は1分の1} \end{cases}$$

1) 一般疾病の場合（交付基準額:120万円超）

- $$\begin{cases} \textcircled{1} & 120\text{万円超}200\text{万円以下の部分} = 2\text{分の}1 \\ \textcircled{2} & 200\text{万円超の部分} = 1\text{分の}1 \end{cases}$$

例) 300万円のレセプトの場合

交付対象額=①40万円+②100万円=140万円



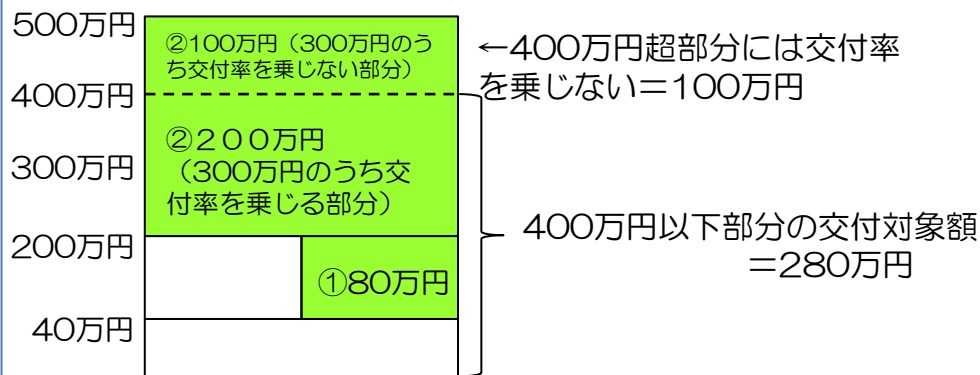
交付決定額=140万円×交付率

2) 特定疾病の場合（交付基準額:40万円超）

- $$\begin{cases} \textcircled{1} & 40\text{万円超}200\text{万円以下の部分} = 2\text{分の}1 \\ \textcircled{2} & 200\text{万円超の部分} = 1\text{分の}1 \end{cases}$$

例) 500万円のレセプトの場合

交付対象額=①80万円+②300万円=380万円

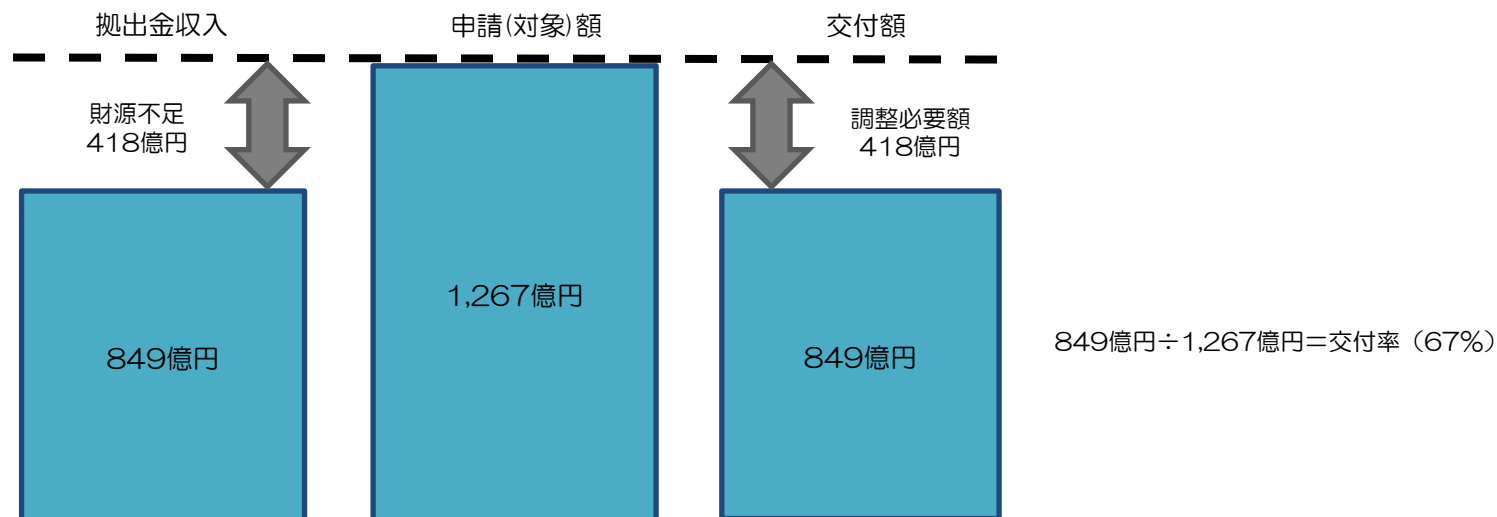


交付決定額=280万円×交付率+100万円(400万円超部分)

2. 高額医療交付金の交付率

- 高額医療交付金は、財源である財政調整事業拠出金収入の範囲内で交付決定を行う。
- 下記イメージのように、財源を超える申請があった場合、財源不足分を調整するための交付率を算出する。
- なお、400万円超部分の交付率は、100%としている。

【図】 高額医療交付金の交付率の考え方（イメージ）



『高額医療交付金交付事業』の概要

1. 事業の目的

『高額医療交付金交付事業』は健康保険法附則第2条に規定する法定事業（交付金交付事業）で、高額な医療費が発生した健康保険組合への財政的な影響を緩和するために行っている。

2. 財源

各健康保険組合が被保険者から徴収した調整保険料は健保連へ拠出され、交付金交付事業（『高額医療交付金交付事業』、及び『組合財政支援交付金交付事業』）の財源となる。交付金交付事業の事業規模は千分の1.3と定められ（厚生労働大臣告示）、このうち千分の1.0相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.3相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源に充てている。ただし、28年度は、千分の1.1相当額を『高額医療交付金交付事業』の財源として、残りの千分の0.2相当額を『組合財政支援交付金交付事業』の財源とした。なお、28年度の『高額医療交付金交付事業』の財源は約970億円（単年度収入）である。

3. 28年度の交付対象

27年11月から28年10月までの間（過年度分も含む）にかかったレセプト1件の月額医療費のうち、交付基準額（一般疾病は120万円（※1）、特定疾病（※2）は40万円）を超えた部分を交付対象とする。

なお、28年度の交付申請組合数は1,385組合、交付対象件数は315,136件、交付対象総額は約1,505億円（28年度の交付率は58%、交付額は約967億円）。

※1 25年度事業対象月（24年11月診療分）以降は120万円、24年度事業対象月（24年10月診療分）までは100万円である。

※2 特定疾病とは、長期にわたって高額な医療費を要するとして厚生労働大臣が指定した次の疾病である。

1. 人工腎臓を実施している慢性腎不全
2. 血友病（血漿分画製剤を投与している先天性血液凝固第Ⅷ因子障害または先天性血液凝固第Ⅸ因子障害）
3. 抗ウイルス剤を投与している後天性免疫不全症候群（HIV感染を含み、厚生労働大臣の定める者に係るものに限る）